

## 発光バクテリアを用いたバイオアッセイによる石油系炭化水素の毒性評価手法の開発 - アルコール類及びアルカン類の毒性評価 -

Development of toxicity evaluation method on petroleum hydrocarbons by bioassay with luminous bacteria: on alcohols and alkanes

# 杉田 創 [1]; 駒井 武 [1]

# Hajime Sugita[1]; Takeshi Komai[1]

[1] 産総研・地圏

[1] Green, AIST

近年、石油系炭化水素による土壌汚染が世界各地で顕在化し、この問題に対処できる簡便なリスクアセスメントツールの開発が必要とされている。発光バクテリアを用いたバイオアッセイが毒性評価手法のひとつとして提案されているが、個々の有害物質や溶媒の発光バクテリアへの毒性応答に関するデータベースが確立されていないのが現状である。そこで、データベースを構築するための基礎データの収集を目的として、溶媒となるアルコール類や石油系炭化水素であるアルカン類の毒性について発光バクテリアを用いたバイオアッセイによって評価した。